

環境調査結果のお知らせ

令和2年5月20日午前10時から野見・須崎湾の環境調査を行いましたので、結果をお知らせします。

概況

漁場環境は、水温が19～22℃、塩分が24～35、溶存酸素量が7～9mg/Lでした。
透明度は2～4mで、有害種のコクロディニウム・ポリクリコイデスが最大で7cells/mL確認されました。

水温と塩分(表1・2)

水温は19.3～21.7℃、塩分は24.0～34.5でした。
前回調査時(R2.4.23)と比較して、水温は全層で2.4～3.8℃上昇しました。塩分は全層で0.1～6.3下降しました。

溶存酸素量(表3)

溶存酸素量は6.5～9.4mg/Lでした。
前回調査と比較して、表層から2m層及び底層で0.2～0.6mg/L増加しました

プランクトン(表4・5)

透明度は1.5～3.5mmで、前回調査時(R2.4.23)と比較して、低くなっていました。
検鏡の結果、有害種のコクロディニウム・ポリクリコイデスが最大で7cells/mL確認されました。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、よく洗ったペットボトルなどに海水を採取して、中央漁業指導所または水産試験場までご連絡ください。

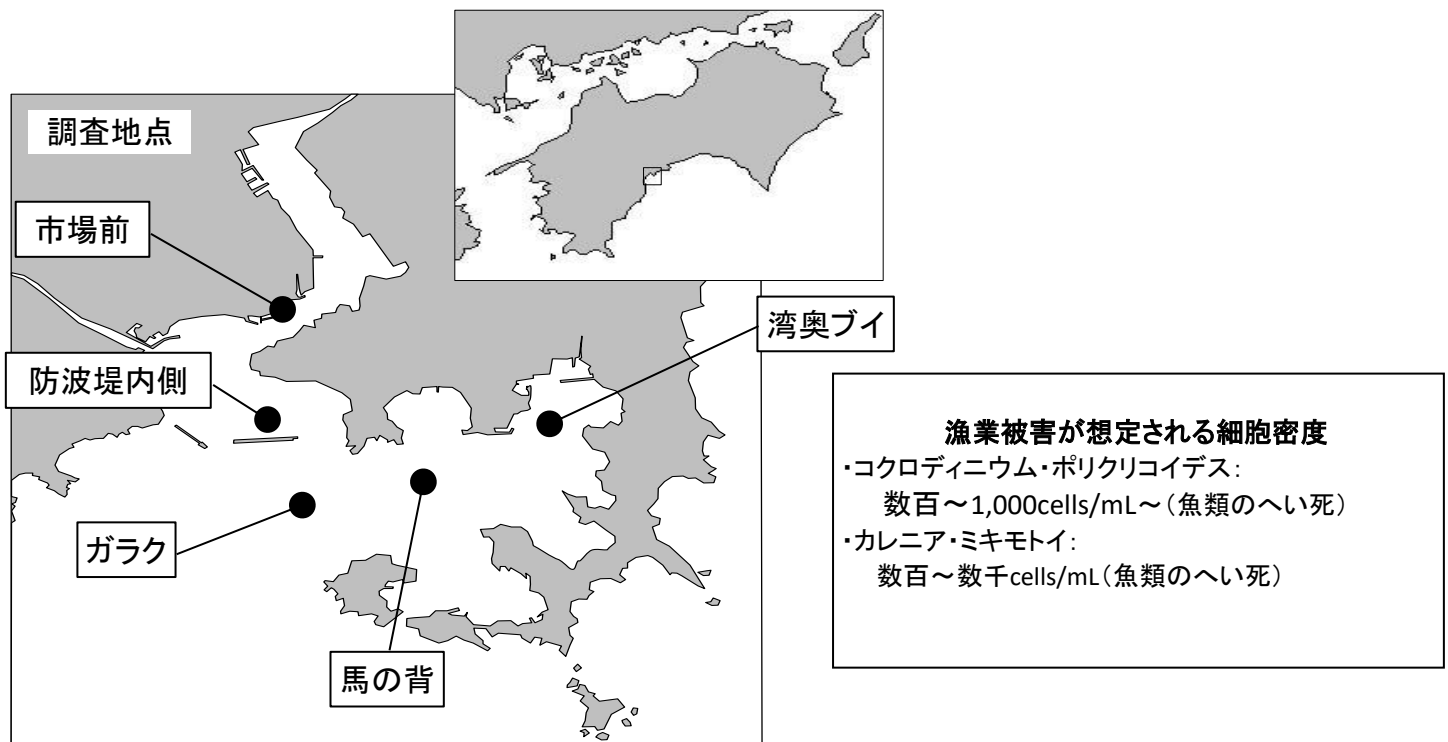


表1 水温(°C)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(R2.4.23)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	21.7	21.4	20.7	20.5	21.2	17.4	3.8	19.7
2m	21.2	20.9	20.6	20.8	20.9	17.4	3.5	20.8
5m	20.2	20.4	20.3	20.5	20.3	17.6	2.7	20.2
10m	19.7	20.0	20.2	19.7	20.0	17.3	2.7	-
B-1m	19.5	19.3	19.9	19.6	19.6	17.2	2.4	19.9

表2 塩分

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(R2.4.23)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	26.6	24.0	31.2	15.7	27.3	33.6	▲ 6.3	9.6
2m	32.6	32.5	32.9	30.7	32.7	33.9	▲ 1.2	31.6
5m	34.1	33.9	33.8	33.5	33.9	34.3	▲ 0.4	33.8
10m	34.4	34.2	33.9	34.4	34.2	34.5	▲ 0.3	-
B-1m	34.5	34.5	34.3	34.4	34.4	34.5	▲ 0.1	34.2

表3 溶存酸素量(mg/L)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(R2.4.23)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	9.4	8.6	7.7	8.9	8.5	7.9	0.6	8.7
2m	8.6	7.8	7.5	8.6	8.0	7.8	0.2	8.0
5m	6.7	7.1	7.7	7.5	7.2	7.2	0.0	6.7
10m	6.5	7.3	7.1	7.3	7.0	7.0	0.0	-
B-1m	7.1	7.3	7.3	7.3	7.2	6.8	0.4	6.8

※湾奥ブイ・馬の背・ガラクの平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	市場前
水深	16.5	24.0	15.0	14.2	10.0
透明度	2.0	2.5	3.5	1.5	1.5
前回(4/23)	3.5	5.5	6.0	3.0	3.0

表5 プランクトン(cells/mL)

		コクロディニウム・ポリクリコイデス	カレニア・ミキモイ	珪藻類
湾奥ブイ	0m	0	0	860
	2m	0	0	900
	5m	7	0	460
馬の背	0m	0	0	400
	2m	0	0	530
	5m	3	0	400
ガラク	0m	0	0	260
	2m	2	0	160
	5m	0	0	130
津波防波堤内側	0m	0	0	330
	2m	0	0	760
	5m	5	0	530
市場前	0m	0	0	60
	2m	3	0	160
	5m	0	0	300